



三木高大 自治会新聞

2023年1月号 (No.178)

発行 三木市高齢者大学学生自治会

発行責任者 自治会会長 米村 隆

編集者 自治会新聞編集委員会

発行日 2023(令和5年)1月10日

<http://koureisyadaigaku.cccp.jp>

大学祭のご案内



今年の大学祭は31回目を迎えることになりその歴史の重みを感じる次第です。

本年度もコロナウイルスに振り回されている日々であり、第8波が冬のインフルエンザと同時にやってきている現状です。しかし、社会活動を維持しながらコロナとつきあう（いわゆるウイズコロナ）という全国的な方針のもと、高大の大学祭もコロナ対策を十分に注意しながら実施していく所存です。このためには、参加される大学生全員はもちろんのこと、大学院生並びに卒業生におかれましてもこのことを肝に銘じて参加され大学祭を盛り上げていただくことを願うばかりです。



今年から大学祭行事が、自治会行事から一人立ちをしクラブの自主的な行事になっています。表面的には、ほとんど変化はありませんが、内部的には、クラブ主体ということで実行委員会の組織もフラットとなりこの9月から12名の委員による委員会を重ねています。この委員会によって11月中に祭りの骨組みを組み立て、いよいよ12月から実務面を細部に渡って詰めていくところです。しかし11月初頭にコロナ禍による学年閉鎖というハプニングが生じ、会議もストップせざるをえませんでした。しかしコロナに負けない心意気で12月からは精力的に動き、なんとしても大学祭の成功に向かって進んでいく日々です。ということで、12月からは、24部のクラブ長にも全員集合してもらい、続いて大学祭の準備の役割を担っていただく学生の皆様にもご協力を仰ぎ準備に勤しんでいるところです。



一方各クラブにおきましても、大学祭の主役は、クラブの発表会であり作品集であることを頭にいれ、1年間の成果を実りあるものにすべく努力されているところです。各位の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

- ◆日 時：令和5年2月18日（土）9:00～12:00 準備
13:00～15:00 展示のみ実施
- 令和5年2月19日（日）9:30～15:00 演技発表・展示
- ◆場 所：高齢者大学（体育館並びに各研修室等）

大学祭実行委員長 3年2班 三木 清

令和5年度大学生募集

三木市高齢者大学では、新年度入学生を募集しています。ご近所、お友達、お知り合いの方に大いにPRしていただき、お誘いくださるようお願いいたします。

募集案内及び入学願書は、令和5年1月中旬に、まなびの郷みずほ、教育委員会生涯学習課（市役所5階）、市立公民館、三木南交流センターなど市の施設に配置します。

◇入学資格 三木市内に住所を有する60歳（令和5年4月1日現在）以上の学習意欲のある方で、学生自治会活動に参加し、かつ、地域活動に関心、意欲のある方

※ 三木市高齢者大学の卒業生も再入学できます。



◇募集定員 50名（先着順）

◇学習講座 教養課程及び専門課程（園芸、健康福祉、情報、古典、郷土史）

◇学費等 入学金12,000円、受講料10,000円/年間、自治会費3,500円/年間

◇願書受付 2月28日（火）まで、火～金曜日の9時から16時、郵送も可

◇問い合わせ 高齢者大学事務局（市立まなびの郷みずほ内 ☎88-2550）

◇詳しくは koureisyadaigaku.cccp.jp

教務主任 藤原 良一

専門講座だより 古典

「源氏物語」との出会い

顧みて家内に背を押されて入学した事は記憶に新しいところです。

躊躇することなく専門課程は古典、クラブ活動は短歌クラブと決めていました。いずれも初心者マークの一步となりました。

言わずもがな私にとって東洋文学の巨編と云われた大作「源氏物語」内にあっては、八百首の三十一音の和歌の雅に貴族文化の表象やも知れませんが、とは云え学生時代の古文に見た1, 2行の見出しに触れた程度の学識でしかありません。

華麗なる時代絵巻の印象とは裏腹に光源氏を通して恋愛と蜜月、欲望と栄光の限りを尽くした権威主義的な物語は時代の為せる業だったのでしょうか？

毎月二度のカリキュラムは原文の朗読です。意味不明なれど先生の口語訳に加えて抒情豊かな現代語訳にはついつい引き込まれる事しばし、和気あいあいの休憩タイムには興味津々感想文のキャッチボールも楽しいものです。

卒業迄は二ヶ月あまりですがあえて、疑問符に残る作者（紫式部）の内面に秘められた人物像について先生に質問申し上げたく解明願えれば幸いです。



“面影や身をも離れず山桜

心の限りとめて来しかど”

4年4班 田原 正巳

第 17 回グラウンドゴルフ大会の報告

令和 4 年 11 月 2 日（水）のグラウンドゴルフ大会 4 日前の午後 8 時ごろ、4 年生の米村さんより、電話があり 4 年生の生徒の中にコロナに感染した人があり、今回のグラウンドゴルフ大会の延期要請がありました。連絡を受けたのち、オブザーバーの板井様、神澤様に今後対応について相談しました。

結果 11 月 9 日（水）の第 8 回定例役員会で

12 月 16 日（金）に延期と決定しました



グラウンドゴルフ大会運営について

参加者は当初の予定より、少なくなったものの、79 名となりました。私達は 6 月 7 日第 1 回実行委員会を開き、5 か月の予定が 6 か月に渡って準備を進めて参りました。

この年末の忙しいところ、各学年実行委員の協力のお陰でこの様な素晴らしい大会が出来ました事をお礼申し上げます。

学生自治会役員並びに大学の各先生方の協力と支援を得まして令和 4 年度グラウンドゴルフ大会を無事に終えることが出来ました。三木市高齢者大学のグラウンドゴルフ大会の役員に任じられたことを栄誉に思うとともに、今後ますます健康なスポーツとして大学の行事として残してください。

実行委員長 3 年 1 班 黒田 俊夫

第 17 回 グラウンドゴルフ大会の成績結果

学年対抗

順位	学年	得点
優勝	4 学年	48.85 点
準優勝	1 学年	53.04 点
3 位	3 学年	53.23 点



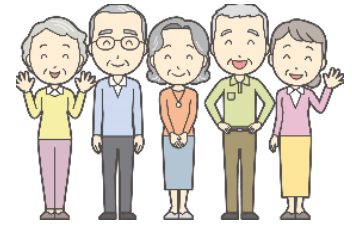
個人成績

順位	氏名	学年	総得点	ホールインワン
優勝	藤本 迪弘	大学院 1	39 点	
準優勝	小原 武	大学院 1	40 点	1 回
3 位	安川 一夫	1 年生	40 点	
4 位	吉田 曙子	3 年生	41 点	1 回
5 位	前田 邦男	1 年生	41 点	
6 位	櫻木 穂	4 年生	42 点	1 回
7 位	藤原 正昭	4 年生	42 点	1 回
8 位	鹿野 義春	1 年生	43 点	1 回
9 位	米村 隆	4 年生	43 点	
10 位	藤井 敏子	3 年生	44 点	

ひろば

～高齢者大学入学の喜び～

この度、再び高齢者大学に入学できました。入る前には、昔の仲間より、君のような不良が入れるわけがないと冷やかされる始末、そのとおり、私も入れなくて元々、願書提出したところなんと一発合格。入学して判ったのですが、前年の入学生徒数が少なすぎたのです。学校側も焦りがあったか、この際、数合わせで誰でも良いと判断されたようです。入れればこちらのもの、さて何を学ぶべきか。今回は、瑞穂のボランティアを主にした学校方針を教えていただいたので町内のボランティア活動に、少しだけご奉仕させてもらった。



今回は入学生徒数 38 人。60 歳、70 歳代が勉学に燃えておられ、なんと 85 歳の猛者も。色々な方達がどんな人生経験を送ってこられたのか、お話を聞くのが楽しみである。敗戦後の食べることに苦労した時期、青春の甘きロマンに満ちた時期、仕事に追われる充実した時期、競争が終わり自由に流れる時間。ありふれた我が人生、悔いの無い生き様だったと思うが、人にはどう見えるか。

これからの 4 年間、高齢者大学のゆりかごに揺られながら、まだまだ早いと思うが、終活にむかっての、人生のおさらいをしてみるか。入学してはや半年、月日のたつのは早いものである。少しは、おさらい、前に進んだか！

1 年 2 班 安川 一夫

ひろば

～但馬八木城と別所氏～

1580 年 1 月 17 日三木城が落城しましたが別所氏は滅びません。兵庫県養父市八鹿町にある八木城は、八木氏が 14 代統治した城です。1585 年に別所長治の叔父別所重棟(しげむね)が 1 万 5 千石の城主になり、跡継ぎの別所吉治(よしはる)が 1600 年の関ヶ原合戦まで城主として治め二代 15 年間続きました。吉治は大阪の陣で活躍し、5 千石を加増されて 2 万石で丹波由良(丹波市氷上町)の領主になり八木城は廃城になりました。

吉治は 1628 年に改易されましたが、子孫は 700 石で徳川家の旗本として残ります。私は但馬の別所氏を調べる為に、八木城を訪問しました。標高 350 メートルの山城です。登り始めると三の丸に出ます。八木城で一番大きい曲輪(くるわ)です。二の丸から本丸に入りますと推定長さ 40 メートルの石垣が現れ、氷ノ山がかすかに見えます。

私は途中で道に迷ってしまい観光協会に連絡をしたら、八木城保存会の会長さんが来てくれました。保存会は別所家との縁で三木の金物祭に、コロナ以前は毎年参加されています。色々な話が聞けて迷った事も良い思い出になりました。(2022 年 8 月 24 日訪問)



写真は本丸から氷ノ山の遠景です

2 年 濱田 裕一